

補助事業番号 22-1-094

補助事業名 平成22年度 囲碁による青少年の健全育成 補助事業

補助事業者名 財団法人 日本棋院

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

小中学生を対象とした唯一の全国規模の団体戦として個人戦では得難い協調性とチームワークの重要性を養い、未来を担う青少年の健全育成を目指す。また、各都道府県の代表校を目指すことが小・中学校でのクラブ活動の大きな目標となる事で、クラブ活動の活性化を図る。

(2) 実施内容

小・中学校囲碁団体戦

実施日 平成22年8月1～2日

事前に全国の各都道府県にて小中学校別に団体戦（1チーム3人編成）の予選大会を行い、勝ち抜いた小学生64チーム、中学生63チーム（大会当日1チーム辞退有り）の計381名が日本棋院にて熱戦を繰り広げた。

新潟市立新津第三小学校（新潟）、栃木市立栃木南中学校（栃木）が優勝し、文部科学大臣杯を手にした。



（手前：小学校の部優勝 新潟市立新津第三小学校

奥：中学校の部優勝 栃木市立栃木南中学校）

2. 予想される事業実施効果

囲碁は集中力がつき、想像力を育み、発想が豊かになる頭脳スポーツとしてのその効能と共に近年、知育・徳育の分野でも青少年の発育に囲碁が及ぼす効能が教育界から多くの注目を浴びている。

また、論理的な思考力、構想力、直感力や判断力を養うために囲碁は非常に適していることが脳医学の研究でも指摘されている。さらにコンピューターゲームと違い直接二人で対局し、勝敗を決する為、礼儀やマナーを自然に学ぶことができる。

各都道府県の予選から全国大会までつながる小・中学校囲碁団体戦は、小中学校でのクラブ活動に具体的な目標を与え、さらに団体戦ならではの協調性やチームワークを養うことで、未来を担う青少年の健全育成に大きな役割を果たすものとする。



(正面玄関)



(平成22年8月1日

予選リーグ対局の様子)



(左：小学校の部優勝校 新津第三小学校



右：中学校の部優勝校 栃木南中

学校、日本棋院「幽玄の間」にて)

3. 本事業により作成した印刷物等

大会パンフレット 1,500部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 日本棋院 (ニホンキイン)

住所： 102-0076

東京都千代田区五番町7-2

代表者： 理事長 大竹 英雄 (オオタケ ヒデオ)

担当部署： 普及事業部 (フキュウジギョウブ)

担当者名： 吉野 文敏 (ヨシノ フミトシ)

電話番号： 03-3288-8729

F A X : 03-3261-5841

E-mail : yoshino@nihonkiin.or.jp

URL : <http://www.nihonkiin.or.jp>